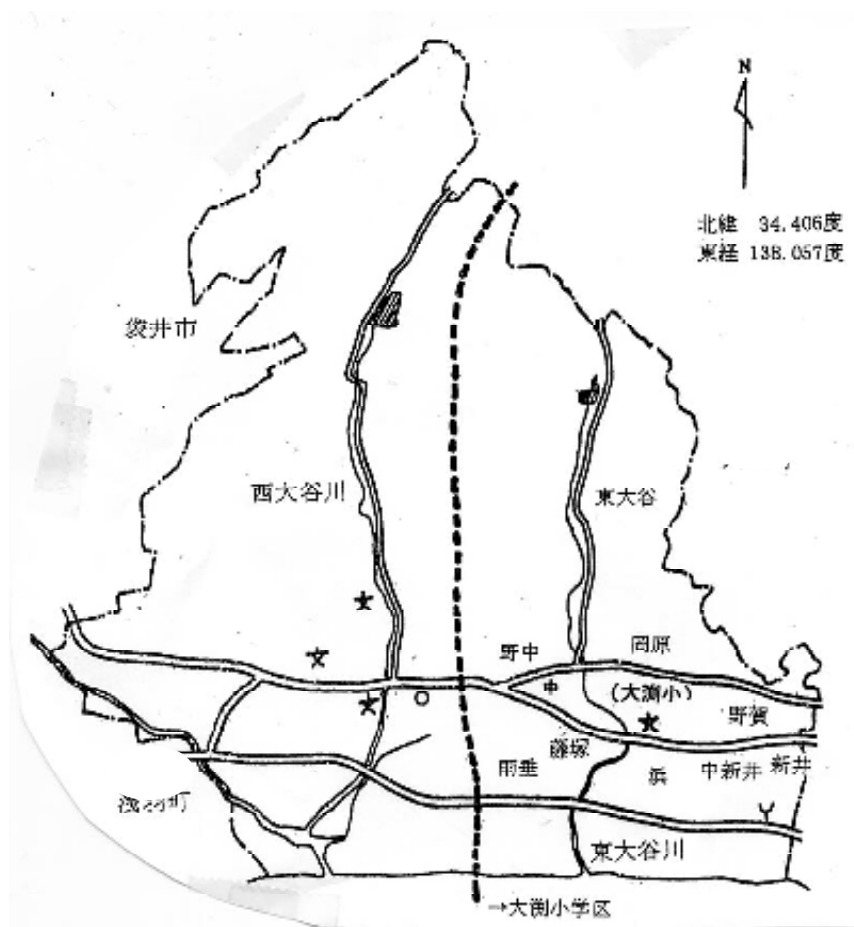


## 1 学区の略図と学校の位置



## 2 学区（地域）の実態

### (1) 概要（平成25年4月1日現在）

ア 掛川市全体

面積 265,53 km<sup>2</sup>

イ 大淵地区

面積 12.9 km<sup>2</sup>

### (2) 教育環境

本校学区は、小笠山連山の南裾から遠州灘に広がる平地にあり、肥沃な田園地帯となっている。小笠山の南麓一帯は開墾され、見事な茶園を形成し、遠州灘に続く砂地地帯は、野菜の栽培が盛んである。集落近くの田は埋められ、温室によるイチゴ栽培が行われている。農業形態も専業農家の減少に伴い、自営工場や会社勤務、パートなど夫婦共働きの家庭も増え、地域の産業、生活様式も大きく変わってきている。民の様子は、近隣の人々との親密度が強く、何事にも協力的である。学校が、地域の

文化の中心のように、勤労生産活動、クラブ活動や学校行事はもちろん、授業へも協力的で、農業、福祉等それぞれの技術や専門を生かした地域の人材導入が日常的にできる連携態勢ができている。